

5月12日(土) 18:00
13日(日) 13:00/16:00
※開場は開演の30分前です

会場 アイホール

☎0727-82-2000 (JR伊丹駅前)

料金

一般(前売・当日共)=1000円

高校生以下=無料(要電話予約)

全席自由席

※開場の1時間前より整理券を発行します

チケット取扱い/アイホール ☎0727-82-2000

スタッフ

[美術・舞台監督] 岡一代(池田意匠事務所)

[音響] 濱田留美(エスエフシー)

[照明] 西崎浩造(エスエフシー)

[演出助手] 奥野将彰(水の会)・今泉なつみ

[宣伝美術] 下東英夫

主催/伊丹市・(財)伊丹市文化振興財団

企画製作/アイホール

財団法人地域創造「地域の芸術環境づくり支援事業」

※この事業はジャンボ宝くじの売上金から助成を受けて実施するものです。

『夏の思い出』は、僕の記憶の中に
鮮烈に焼きついている観劇体験のひとつだ。
いつかみたのは確か83年、
夏帽子の少女を鳥瞰図的に描いた美しいチラシに誘われて、
劇場に足を運んだのだった。
劇団名は「青い鳥」。女性6人が繰り広げる、
生徒たちの夏休み明けのお話は、
なんだかまぶしいくらいのみずみずしさに満ちあふれ、
今までにないくらい胸ときめいて、
それは夢のような時間だったのを覚えている。
今回ベースになるのは、活字になった『いつかみた夏の思い出』。
それを『アラタナル夏の思い出』と改めて芝居を作る。
出演するのは、ちょうどこの作品が
初演された頃に生まれた女の子たちだ。
再現を目的にする気はまったくない。
文字通り「アラタナル」に挑戦するつもりだ。
果たして、現在の高校生たちが、
どんなスタンスでこのテキストと向き合うのか。
まずはディスカッションから始めようと思う。
きっとあの時の胸のときめきは、
彼女たちの新たなときめきが変わって、
劇場を満たしてくれるに違いない。 岩崎正裕



AI・HALLハイスクールプロデュース vol.3

『アラタナル夏の思い出』

原作/市堂令

構成・演出/岩崎正裕

出演/奥村奈央/寺澤麻里絵/西川文乃/長谷川輝美/藤田幸子/山口晶子

※劇団青い鳥上演台本『いつかみた夏の思い出』より

今回で3回目をむかえる「ハイスクールプロデュース」。

この作品は、八十年代の名作といわれた

劇団青い鳥の『いつかみた夏の思い出』を、

199Q太陽族の岩崎正裕が再構成します。

伊丹の現役高校生たちと関西を代表する演出家を作る、

「高校演劇」ではなく「高校生による現代演劇」です。